

### 井川正治氏を 名誉会員に認定

#### 塑性加工学会

日本塑性加工学会は、ジェイテクト相談役の井川正治氏(写真)の長年の功績を讃え、同会名誉会員に認定した。



CAM開発、塑性加工を活用した加工プロセス革新などにも取り組み、幅広い分野で自動車の生産技術開発に努めた。

同12年には同社生技管理部長に就任、加工ラインのセルビ化や省人化のための組付自動ライン構築などを進めた。同13年に同社取締役役に就任、鍛造ラインのフレキシブル生産を実現するための開発と実用化を指導。同取組みにより、同社は「グローバル生産に向けた小ロット・コンパクト鍛造ラインの開発」で同23年度日本塑性加工学会大賞を受賞した。また、各工場に「潤滑油協会」を開設した。

同氏は、昭和50年3月関西大学大学院工学研究科修士課程を卒業後、同年4月にトヨタ自動車工業(現トヨタ自動車)に入社してからは一貫して生産技術に関する業務に従事、NC加工機の3軸同時制御装置の開発などを担当した。同社が同63年に「中種中量フレキシブル生産システムの開発と実用化」で大河内記念技術賞を、平成5年に「反応成形によるスプライン」で応成形によるスプライン

### オイルの日記念 研究会を開催

#### 潤滑油協会

潤滑油協会は7月10日、東京・港区の笹川記念会館で「平成27年度潤滑油研究会(写真)」を開催した。

同研究会は、7月10日を「オイルの日」と定め、毎年開催している。資源エネルギー庁の支援の下、潤滑油製造業近代化事業



### 全方向型車輪を開発

#### 車軸と異なる方向へ駆動

#### 富士製作所

富士製作所は、車軸の回転方向とは異なる方向に移動が可能な、全方向駆動型車輪「全方向駆動型車輪メカナムタイプ」を発売している。

同品は四輪を独立制御することで、ホイール自体の取付け角度を変更せず、ステアリング機構がなくても全方向移動が可能となる。無人搬送車量やロボットなどに適合する。

同品は車輪の表面(円周上)が車軸に対して45度傾けたバレル(樽型ロー)によって覆われている。モーターの駆動力が

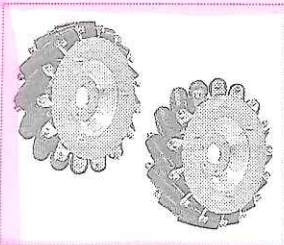
伝達されることで、従来の車輪と同じ動きができるほか、四つのモーターの回転方向と速度制御を行うことで、車輪の回転と円周上のバレルの回転による動きとの連携で全方向移動を実現する。自在キャスターのような「首振り」による抵抗が発生しないほか、正確な位置

決めが可能となる。

### 軸受用肌焼鋼 疲労寿命が向上

#### 山陽特殊製鋼

山陽特殊製鋼は、高強度肌焼鋼「ECCOMAX4」シリーズを拡充し、新たに「ECCOMAX4」(写真)を加えたと発表した。軸受部品やギヤ、シャフト

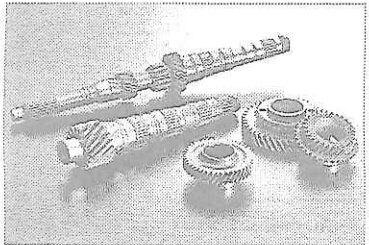


### マザーズに上場 耐摩耗部品など製造

#### 中村超硬

中村超硬は6月24日、東京証券取引所マザーズ市場に上場した。

同社は1954年に創業を開始、軸受用の耐摩耗部品や特殊精密部品、業務拡大を目指す。



切削加工、ダイヤモンドワイヤなどの設計や製造、販売を行う。同社は今後、経営理念の「努力・活力・創造力」を徹底し、全員参加型の経営を目指すほか、株式公開企業として広く社会に役立つ企業として、生産技術革新などで一層の

軸受部品やギヤ、シャフト

に「ECCOMAX4」(写

真)を加えたと発表した。

減を実現③軸受の

層の亀裂を

で、高いピッチ

寿命を実現④の

粒粗大化を抑え

ピンニング粒析

析出すことで

入れ時でも

定、焼ならし

や浸炭焼入れ